

令和2年度第1回三木市創生計画策定検証委員会での主な意見 (生涯活躍のまち関係抜粋)

日 時：令和2年8月25日（火）
午前10時～午前11時40分
会 場：三木市立教育センター
大研修室

第1期三木市創生計画 人口ビジョン・総合戦略の推進交付金の検証、第2期三木市創生計画 人口ビジョン・総合戦略及びアフターコロナについて、第1回三木市創生計画策定検証委員会を開催し、委員から意見をいただいた。

主な意見

■ 生涯活躍のまちについて

- ・ K P I の自己評価は厳しいが、移住世帯数は、かなり増えている。目標に達していないものの、郊外の住宅地でプラスの実績という結果は、多世代の住民がまちづくりに協力するという取組が実を結んでいる。
- ・ 資料1の27ページについて、転出入のK P I がプラス10世帯と、かなり評価できる数字である。目標が高すぎるため、評価が「×」になっているが、かなり頑張った結果である。もっと前向きに評価するべきではないか。
- ・ 最近の緑が丘は、空き家を建て替えるなどして若い世代が入ってきている。現在、大和ハウスが空き家調査をしており、平成27年の結果と今回の調査の結果で、空き家の数がどう変化するかが楽しみである。
- ・ 生涯活躍のまちは、多世代の住民が協働でまちづくりを行うことで、まちが活性化し、楽しいまちになるという取組である。サテライト、クラウドワーキング、健康管理など、住んでいる人が「ここに住んで良かった」と思っているということを情報収集して、発信してほしい。また、こういったまちづくりをしているということを、市民に知っていただくことが重要であると思う。